

貯蔵施設明細書

販売所の名称、所在地及び貯蔵施設の位置、面積				
販売所の名称	販売所の所在地			
貯蔵施設の位置	販売所の同一敷地内	住所：		
	販売所の敷地外	販売所からの距離： m (5 km以内のこと)		
	管理人常駐	さく	へい 貯蔵施設の施錠	
当該販売所専用で独立した貯蔵施設 他の販売所と共同使用で独立した貯蔵施設 高圧ガス保安法の容器置き場内を区画した貯蔵施設				
貯蔵施設面積	m ² (面積の算定は、柱、壁の中心線から行う)			
貯蔵施設の技術上の基準に対応する事項				
施設距離等	最も近い第一種保安物件までの距離			
	保安物件の名称			
	第一種施設距離	実際距離： m (法定距離： m (障壁設置時距離： m))		
	最も近い第二種保安物件までの距離			
	保安物件の名称			
	第二種施設距離	実際距離： m (法定距離： m (障壁設置時距離： m))		
	施設距離の不足に対する障壁の必要性 有 無			
障壁構造	障壁の有無	有 無 (無の場合の壁の材質：)		
	有の場合の構造			
	鉄筋コンクリート製 (壁兼用 独立 その他 ())			
	高さ	m、	厚さ cm、直径 mm 鉄筋を縦 cm 横 cm の間隔で配筋	
	コンクリートブロック製 (壁兼用 独立 その他 ())			
	高さ	m、	厚さ cm、直径 mm 鉄筋を縦 cm 横 cm の間隔で配筋し、ブロック空洞部にコンクリートモルタルを充てん	
	鋼板製 (壁兼用 扉兼用 独立 その他 ())			
	鋼板の厚さ： mm、	高さ： cm、幅： cm		
	補強： mm × mm の等辺山形綱を縦 cm 横 cm 間隔に溶接補強			
	施設距離内に保安物件がある場合の有効な保護状況 (斜角) 別図のとおり			
貯蔵する貯蔵能力が最大の容器 (通常50kg容器) の頂部と障壁の頂部を結んだ直線の延長線上に保安物件が係っていないことを記載した図面であること。				
屋根	屋根組	形鋼 軽量形鋼 その他鋼材 ()		
	屋根の材料	薄鉄板 石綿スレート その他 ()		
扉	鋼板製の障壁扉 障壁以外の鋼板製 シャッター その他 ()			
滞留防止措置	換気口			
	床面に接し、かつ、外気に面して設置した換気口を 方向 力所に設置			
	法定必要換気口面積(A)	cm ² に対し、実際換気口面積は(B) cm ²		
	・法定換気口面積(A)：	cm ² = 貯蔵施設面積 m ² (壁の内寸で算出) × 300cm ² / m ²		
	・実際換気口面積			
	開口部面積：	cm ² = 縦 cm × 横 cm × 加所		
	鉄筋等断面積：	cm ² = cm × cm × 本 × 加所		
	・実際換気口面積(B)：	cm ² = cm ² - cm ²	(B) > (A)	
	強制換気			
	吸入口は床面から cm、	放出口は地盤面から m (法定：地盤面から5m以上) の位置に設置		
	法定必要通風能力(A)	m ³ /min に対し、実際通風能力(B)は m ³ /min		
	・法定通風能力(A)：	m ³ /min = 貯蔵施設面積 m ² (壁の内寸で算出) × 0.5m ³ /min		
	・実際通風能力(B)：	m ³ /min (B) > (A)		
警戒標	掲示位置	貯蔵施設壁 その他 ()		
	表示内容等	L P ガス貯蔵施設	掲示枚数：	枚
		燃 (赤字文字)	掲示枚数：	枚
		火気厳禁 (赤色文字)	掲示枚数：	枚
		販売所から 5 0 m 以上離れた貯蔵施設である場合に、上記の他に掲げる警戒標		
	販売所の名称及び所在地	掲示内容：	掲示枚数：	枚
貯蔵施設の管理者の氏名	掲示内容：	掲示枚数：	枚	
貯蔵施設の管理者の電話番号	掲示内容：	掲示枚数：	枚	
消火器	消火能力	A - B -	設置個数： 個	
火気等	火気等の種類	火気等までの距離： m		
	火気等との距離が 2 m 以内である場合の措置			
	鉄筋コンクリート製障壁を設置	高さ： m、厚さ： cm		
	コンクリートブロック製障壁を設置	直径 mm の鉄筋を縦 cm 横 cm 間隔に配筋		